



作成日 2011/01/28

改訂日 2018/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ASメッシュ(GHS)
 製品コード CE-F02-1390
 供給者の会社名称 宇部興産建材株式会社
 住所 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
 電話番号 03-5419-6206
 FAX番号 03-5419-6265

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない

GHSラベル要素

注意書き 予防策

粉じんを吸入しないこと。(P260)
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

対応

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)

保管

取り扱った後、手を洗うこと。
 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。(P410+P403)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリエチレンテレフタレート	75～80%	不明	(7)-1022	公表	25038-59-9
エチレン・酢酸ビニル・アクリル酸エステル共重合体	20～25%	不明		既存	非公開
酢酸ビニル	<1.0%	CH ₂ =CHO COCH ₃	(2)-728	公表	108-05-4

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び酢酸ビニル(法令指定番号:180)有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 溶融物等から発生するガスを吸って気分が悪くなった場合は、直ちに新鮮な空気の場所に移し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合
 飲み込んだ場合

溶融物の場合は直ちに大量の清浄な水で冷やす。皮膚上の固まった樹脂は無理にはがさず、医師に診断を受ける。
 直ちに清浄な水で5分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
 できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤
 特有の危険有害性

水、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤発生ガス(アセトアルデヒドなど)を吸入しないように注意する。

特有の消火方法
 消火を行う者の保護

風上から、水や二酸化炭素等により消火する。大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置

人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。必要に応じて保護具(保護用手袋、保護用マスクなど)を着用し、皮膚への付着、眼、口への侵入を防ぐ。

環境に対する注意事項

環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

封じ込め及び浄化の方法
 及び機材

製品漏出の可能性はないが、切れ端などは適切な容器に回収する。
 箒や掃除機等で全量回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは局所排気や全体換気を行なう。

安全取扱注意事項

カッターで裁断する場合は、切創防止の保護手袋を着用する。

保管

安全な保管条件

ロール状物は重量物のため、落下しないように注意する。

安全な容器包装材

高温多湿を避け冷暗所にて室内保管をする。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
 最初の容器内でのみ保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酢酸ビニル	未設定	未設定	TWA: 10ppm、STEL: 15ppm

保護具

呼吸器の保護具
 手の保護具
 眼の保護具
 皮膚及び身体の保護具

粉塵が多い場合は防塵マスクの着用が望ましい。保護手袋を着用すること。
 粉塵が多い場合は保護眼鏡の着用が望ましい。適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態
 形状
 色

固体
 固体(シート)

臭い

白色

臭いのしきい(閾)値

わずかな臭気
 データなし

pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		1.3~1.5
溶解度		水に不溶
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	常温、単独では安定で、反応性はない。
危険有害反応可能性	高温では一部熱分解する。着火源があれば燃える

避けるべき条件	高温、炎。
混触危険物質	強酸化剤など。
危険有害な分解生成物	溶融、燃焼などの高温ではアセトアルデヒド等が発生する。

11. 有害性情報

酢酸ビニルとして

急性毒性(経口)	ラットLD50=2,900 mg/kg
急性毒性(経皮)	ウサギLD50=2,335 mg/kg
急性毒性(吸入:蒸気)	ラットLC50(4時間)=11.4mg/L (3,184 ppm に相当)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	軽度の刺激性(ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	強度の刺激性(ウサギ)
呼吸器感作性	皮膚感作性あり(モルモット)
皮膚感作性	皮膚感作性あり(モルモット)
生殖細胞変異原性	in vivo小核試験:陰性 in vivo小核試験、染色体異常試験:で陽性
発がん性	ACGIH:A3、IARC:Group 2B
生殖毒性	ラット及びマウスの生殖毒性試験、催奇形性試験において、生殖毒性がないか、毒性学的な意義が少ない、または最小限な影響のみ誘発する結果が得られている。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトにおいて呼吸器に対する刺激性が認められている。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて上気道の炎症との記載、実験動物において肺炎と鼻炎、鼻腔嗅上皮の萎縮、粘液分泌腺の萎縮、鼻腔嗅上皮の扁平上皮化生と萎縮、基底細胞の過形成が報告されている。

12. 環境影響情報

酢酸ビニルとして

水生環境有害性(急性)
水生環境有害性(長期間)

魚類(ヒメダカ)96時間LC50=2.39mg/L
急速分解性があり、かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Kow=0.73)。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
残余廃棄物と同じ。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78,Annex II ,and
the IBC code

該当しない
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報

陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質
航空規制情報

該当しない
該当しない
該当しない
非該当
非該当
該当しない

15. 適用法令

化審法
労働安全衛生法

優先評価化学物質(法第2条第5項)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

消防法
大気汚染防止法

指定可燃物、合成樹脂類
有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

海洋汚染防止法

危険物(施行令別表第1の4)
有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

外国為替及び外国貿易法
特定有害廃棄物輸出入
規制法(バーゼル法)

輸出貿易管理令別表第1の16の項
廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

16. その他の情報
記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

※SDSは、有害な化学物質について、人の健康や環境への悪影響をもたらさない様に情報提供するものです。SDSの提供は、例外的に、固形物(成形品)については、提供しなくてもよいとされており、本製品は対象外となります。自主的な判断で情報公開をさせていただきます。